

今日、この場所で  
彼と再び出会ったのは  
偶然なのか

必然なのか

奇しくも彼がいなくなつた  
5年前のあの日と同じ  
真昼の月が

青い空に  
消え入りそうに  
浮かんでいた











誰だ？  
朝っぱらから…



兄貴!?

なんだ  
まだ寝てた  
のか？



今日日曜だぜ  
いつまで寝てようが  
勝手だろ!?

あー今部屋  
まで行くから



拓朗——っ！

ただ「ヒロ」と  
呼んでいた——



5年前…  
ヒロがいなくなって初めて  
俺は彼の事を何も知らない  
自分に気付いた

ヒロ……

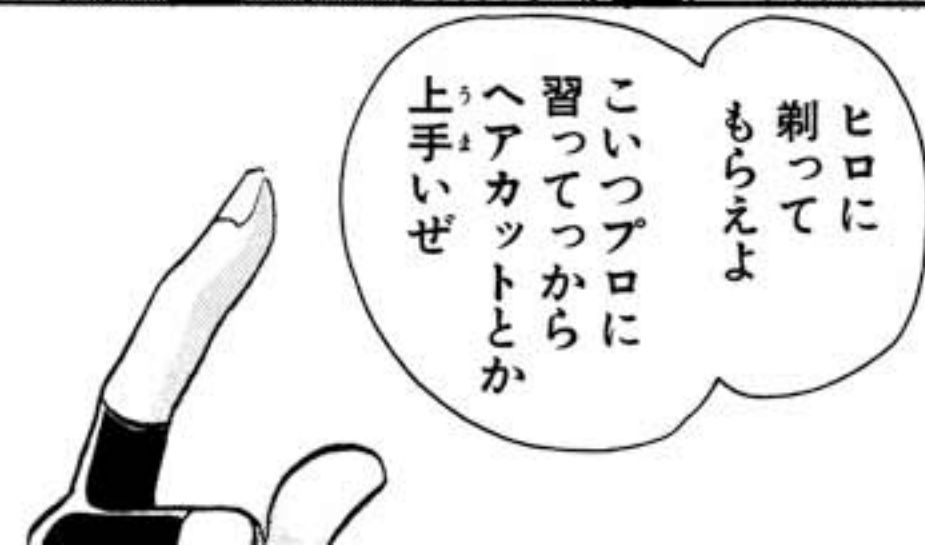
4カ月もいっしょに生活を  
していながら  
北崎光夢<sup>きたさきひなむ</sup>と言つ本名すら  
知らなかったのだ



5年前の夏  
出会いは突然だった

ミー——









だからさあ  
困った時はお互い  
様つうかさ

子供の頃おまえがキライな  
ニンジンをおこつそり  
タンスの裏に隠してんの  
知ってたけど親には  
内緒にしてやったの  
忘れた?



おおーっ  
さすがヒロ!

すげえ  
サッパリ  
したじゃん!!



そんな昔の話  
今頃出されても  
……



は!!  
は!!

そして……  
それは嫉妬でもあつた

兄貴は俺の欲しい  
ものを何でも持つてる



いっく!?  
やっか



え……でも  
遠慮すんなよ  
俺達しばらくここに  
やっかいになるんだし  
その札だと思つてさ



やっかい……?



けど明るくって正義感の  
強い性格から誰に  
でも好かれてた

憧れてた  
いつもあんな風に  
なりたいって



晃兄は  
いつも強引なんだ  
そう子供の頃から